

あなたの声を議会に...

No.132

(年4回発行予定)

令和4年8月15日発行



# 市議会だより



夏の交通事故防止キャンペーン (R4.7.11 荒崎パーキング)

## 目次

【令和4年第2回定例会】	
【令和4年第1回臨時会】	2～
常任委員会審査結果	4～
一般質問	6～
議案等の審議結果	13～
庁舎整備検討特別委員会	15
令和4年第3回定例会日程案	
編集後記	16

発行／垂水市議会  
 編集／垂水市議会だより編集委員会  
 鹿児島県垂水市上町114番地  
 Tel 0994-32-1111 (内線358)  
 メールアドレス  
[t\\_gikai@po.city.tarumizu.kagoshima.jp](mailto:t_gikai@po.city.tarumizu.kagoshima.jp)



垂水市議会  
ホームページの入り口

令和4年  
第2回定例会

# 一般会計補正予算 (第2号) (案) 可決

## 一般会計予算総額 118億1,779万円

第2回定例会は、6月10日から7月1日まで22日間の会期で開かれ、25件の議案や報告、請願等が審議されました。

定例会では、大野地区の総務省事業やコロナ対策(ワクチン接種事業、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金事業)等に係る一般会計補正予算(第2号) 2億7703万円をはじめ、垂水中央病院の感染対策強化に係る病院事業会計補正予算(第1号) 1035万円、人事異動に係る簡易水道事業特別会計補正予算(第1号) 75万円の増額は、全会一致で可決されました。

また、契約保証金の紛失について、本会議初日に議員から「事務検査に関する特別委員会の設置を求める決議案」が提出され、賛成多数で可決されました。

※審議結果は13ページに掲載  
※特別委員会の設置については、次ページに掲載

一般質問では13名の議員が登壇し、執行部と論戦を交わしました。  
※各議員の一般質問は6ページから掲載

### ～令和4年度一般会計補正予算(第2号)の主な事業～

#### コロナワクチン負担金

2,696万円

新型コロナウイルスワクチン4回目接種に伴う経費

#### コロナワクチン補助金

3,819万円

新型コロナウイルスワクチン4回目接種に伴うコールセンター業務委託料等の経費

一般会計補正予算(第2号) 2億7,703万円

#### 総務省事業補助金

1,091万円

大野地区が実施する過疎地域等集落ネットワーク圏形成支援事業に伴う経費

#### 地方創生臨時交付金

1億7,721万円

子育て世帯生活応援臨時給付金や燃料費高騰対策事業補助金等に伴う経費

## 契約保証金検査特別委員会設置

新聞等で報道があった契約保証金の事案については、現在、警察による捜査中とのこと。

議会としても再発防止策が最大の目的です。今回、地方自治法第98条第1項に基づき検査権を行使するため、特別委員会を設置しましたので、当委員会で検査を行います。

### ○地方自治法第98条

(抜粋)

普通地方公共団体の議会は、当該普通地方公共団体の事務に関する書類及び計算書を検閲し、地方公共団体の長（略）の報告を請求して、当該事務の管理、議決の執行及び出納を検査することができる。

令和4年  
第1回臨時会

# 市庁舎の耐震補強工法における 決議案 可決 (内付主体工法を要望)

第1回臨時会は、7月11日の会期1日で開かれました。

臨時会では、感王寺庁舎整備検討特別委員長から、市庁舎の耐震補強工法の協議結果について中間報告がありました。内容は、庁舎整備検討特別委員会において、A案(外付主体工法)、B案(内付主体工法)を比較・審査・協議した結果、B案による耐震補強工事を要望することに決定したことです。

報告後、委員長から「市庁舎の耐震補強工法における要望の決議案」が提出され、審議の結果、全会一致で原案可決となりました。その後、議会从から垂水市へ要望書が提出されました。

※庁舎整備検討特別委員会の協議内容は、P15参照

### 工法比較表

	A 案	B 案
採用工法	RC壁による開口閉塞と鋼板内蔵コンクリートブレースによる外付主体工法	RC壁による開口閉塞と鉄骨ブレースを挿入する内付主体工法
経済性	<p>■大概算 5億～6億7,000万円 (うち補強工法概算2億7,200万円)</p>	<p>■大概算 3億8,000万～5億5,000万円(うち補強工法概算1億4,440万円)</p>
※大概算の算出は、過去実績をもとに推計したもので、社会情勢の変化により、変わる場合があります。		
施工性	南側は駐車場が使用できず、外付工法に不向きな構造。騒音・振動や、執務室の移動が発生。	騒音・振動や、執務室の移動が発生。
利便性・意匠性	安心感はあるが、外観・採光・駐車場・執務スペースに影響がある。	外観や駐車場に大きな影響を与えないが、採光・執務スペースが減少する。



要望したB案の外観イメージ(南西側)



議会から市へ要望書を提出

# 産業厚生委員会

6月23日に産業厚生委員会が開催され、6月10日の本会議において付託された議案について審査されました。審査の際の主な質問と回答について紹介します。また、当日は各事業の状況を確認するため現地視察を実施しました。

## 令和4年度垂水市一般会計 補正予算(第2号)案

### 付託内容

委員会所管の事項の中で、6月より実施している子育て生活支援特別給付金の対象とならない子育て世帯へ、物価高騰対策として生活応援臨時給付金の給付を行う費用、及びがん患者ウィッグ購入扶助に要する経費、物価高騰により困っている事業者への補助に要する経費等に関して審査した。

### 主な質疑

**問** 物価高がこれからも続き、令和4年度中に新たな補正を組む際、地方創生臨時交付金は使用できるのか。

**答** 新型コロナウイルス対応地方創生臨時交付金を使用できると国からの書面に明記されている。

# 産 業 厚 生 委 員 会

**問** 物価高騰により困っている農家が多いが、今回の農業物価等対策事業補助金を早急に支給できる準備はできているのか。

**答** 議決以降広報活動を行い、受付開始後に申請があれば審査を行い、早急に支給できるようにする。

**問** ドローン購入に際して、メンテナンスも考慮したのか。

**答** 鹿児島にドローンを取り扱っている方がいるということなので、修理等の依頼ができるのではないかと考えている。

## 令和4年度垂水市病院事業 会計補正予算(第1号)案

### 付託内容

垂水中央病院の感染対策強化に係る費用(PCR検査装置の追加購入、発熱専用外来の環境整備等)。

### 現地視察

【災害関連緊急治山事業】



新城内田地区

令和2年7月の梅雨前線豪雨により山腹法面が崩落。土砂が市道・人家の敷地内に流出し、倉庫が半壊した箇所は復旧状況を視察。  
総事業費は1億6092万円で、令和4年3月に完了。

【第一下市木橋橋梁補修工事】



第一下市木橋(元垂水)

道路メンテナンス事業を実施した第一下市木橋の復旧状況を視察。  
垂水市橋梁長寿命化計画に基づいて平成28年に橋梁点検を実施した結果、主桁下面のPC鋼材に腐食が見つかったため、補修工事を実施。総事業費1487万7000円で、令和4年1月に完成。

【浜平2地区急傾斜地崩壊対策事業】

浜平2地区の急傾斜地崩壊対策事業の実施箇所を視察。がけ高23〜32m、傾斜が40度あり、斜面崩壊が発生した場合、甚大な被害が想定されるため、10か年事業で実施中。全体延長220mで、総事業費は2億8500万円。令和4年度事業費は1650万円。



浜平2地区

総務文教委員会

6月24日に総務文教委員会が開催され、6月10日の本会議において付託された議案について審査されました。審査の際の主な質問と回答について紹介します。また、当日は各事業の状況を確認するため現地視察を実施しました。

令和4年度垂水市一般会計  
補正予算(第2号)案

付託内容

委員会所管の事項の中で、大野地区の総務省事業やアルコール検知器の購入、ギガスクール構想におけるICT支援員の体制、地区公民館の高速通信環境改善などを審査した。

主な質疑

**問** 公衆系ネットワーク回線の増設と公衆無線LANをどんな形で運用していくのか。

**答** ウェブ会議等の利用による3密回避、ギガスクール端末の本庁や公民館での利用、災害時における避難情報の収集、分散勤務やテレワーク推進拠点としての活用などで、市民の利便性の向上を図る。



垂水市総合開発審議会条例の  
一部を改正する条例案

付託内容

審議会の委員数を10人から15人に変更し、委員の選抜に公募者を追加しようとするもの。

主な質疑

**問** 女性の委員を何人登用するか基準は決めているのか。

**答** 総合計画において、庁内の各審議会等の構成員における女性の登用率を3割以上と目標値を定めており、クリアできるように選定していきたい。

消防本部災害対応特殊水槽付  
消防ポンプ自動車の購入契約  
について

付託内容

車両の老朽化・ポンプ性能の低下等により、消防本部水槽付消防ポン

プ自動車を購入するもの

主な質疑

**問** 以前の車両と比較して、強化された点は。

**答** 緊急消防援助隊活動へ5名で参加するが、救助隊活動に使う物が自己完結のため、座席や荷物を積載できるスペースを多く設けた。

現地視察

【図書館空調設備外改修工事】

築30年以上経過していた垂水市立図書館を視察。空調設備改修や照明のLED化により、利用者の利便性を高める環境改善が図られていた。事業費は空調設備3003万円、照明設備2250万6000円で、令和4年3月完成。



垂水市立図書館

【垂水中央運動公園体育館空調設備改修工事】

分散避難を推進する観点で、空調設備等を改修した中央運動公園体育館を視察。事業費6399万5000円で、令和4年3月完成。



中央運動公園体育館

【市体育館横防災備蓄倉庫】

平成29年度に設置した防災備蓄倉庫を視察。事業費499万4000円で、平時から各種備蓄品を保管。



防災備蓄倉庫

令和4年 第2回定例会

# 一般質問

13 議員が登場！

新型コロナ対策実施中  
(マスク着用・アルコール消毒・換気)

## 市政を問う



第2回定例会において、13名の議員が一般質問を行いました。

※掲載内容については、質問と答弁の要旨を質問者の文責により掲載しています。詳細な内容については、市役所3階情報公開室や図書館等にありますが“会議録”をご覧ください。会議録は市役所ホームページからもご覧いただけます。

【質問者】 ※質問順		令和4年6月21日	
1番	堀内 貴志	議員	P6
2番	森 武一	議員	P7
3番	梅木 勇	議員	P7
4番	前田 隆	議員	P8
5番	新原 勇	議員	P8
6番	川畑 三郎	議員	P9
7番	北方 貞明	議員	P9
8番	篠原 静則	議員	P10
9番	持留 良一	議員	P10
10番	感王寺 耕造	議員	P11
11番	池山 節夫	議員	P11
12番	池田 みずず	議員	P12
13番	徳留 邦治	議員	P12



堀内 貴志 議員

**庭球場の整備と安全点検  
トイレの洋式化について**

**問** 数年前に野球場も庭球場も順に改修する計画があるという説明を受けたが、整備がされていない現状にある。特に庭球場は、トイレの洋式化、スタンド内のひび割れ、散水栓のホースがない、ネットの破損等、課題が多いことから施設の全面改修、若しくは日々の安全点検が必要ではないかと思うが見解は。

**答** 一定の改修の必要性があることは認識しており、具体的な改修内容や時期について計画がされていないので、改めて検討を行う必要があると考えている。

また、毎月の安全点検を確実に実施し、利用者が安全かつ安心してスポーツ施設を使用できるように努める。



**マスク着用の緩和  
熱中症対策の観点で理解を**

**問** 厚労省は熱中症予防対策の観点からマスク着用の緩和を発表し、本市でも、これを受けてチラシを配布

した。マスク緩和に対して賛同し、その行動を取った場合に誹謗中傷を受けることがあってはならないが、マスク着用の緩和について市民への広報の在り方について問う。

**答** マスク着用の国の方針について、屋内外・乳幼児等における推奨事項が示された。日常生活の中で、マスク着用・非着用で誹謗中傷があってはならないことや、持病や体調等でマスク困難な方もいることから、マスク着用の緩和だけでなく感染症に対する差別や誹謗中傷が生じることがないように、周知を図っていく。

**公金不明事件の背景と経緯  
公表が遅れた理由は**

**問** 契約保証金の不明金に係る事件の背景や経緯、また再発防止対策を講じたのか問う。

**答** 平成29年12月から翌年3月までの4件の契約保証金で、総額は約285万円である。発覚後の令和元年6月から8月にかけて、総務課において関係者に対して聞き取り調査するも問題解決に至らず、顧問弁護士に相談の上、同年11月15日に警察に被害届を提出した。

市民への公表は、関係職員への人権侵害や警察の捜査への支障等を理由に行わなかった。

現状の再発防止策は講じたが、今後、特別委員会の議論も踏まえて検討する。



森 武一 議員

**日常生活に支障をきたしている  
継続的な治療が必要な子育て  
世代への支援について**

**問** 現状の支援策は、非課税世帯が対象であるなど様々な課題がある。既存の支援の網にかからない方がいるのではないか。支援の網から漏れた方は、支援の網から漏れているから支援が必要ないということではない。支援はやはり必要である。現状はこの部分への支援についての調査研究すら始まっていない。全て行政で面倒を見るということは難しいと思うが、まずは調査研究から始めることが必要だと考えるが、考えを伺う。

**答** 現状ではファミリーサポートセンター事業による乳児・幼児の子供を一時的に預かる支援、子供の保育所等入所などが考えられる。また、状況により大隅児童相談所と連携した一時保護施設入所等措置などの支援を行うことができるものと考えている。経済面においては生活保護の申請をされることも検討されればと考える。しかし、質問もあったことから、まずは大隅地区の4市5町の支援の状況について調査したいと考える。

**不明金について**

**問** 今回の不明金に関して、日計表とか例月検査などから気づくことができなかつたのか。気づくことができないうちに、他に不明金がないと言えるのか。

**答** 当月残高がマイナスとならなかつたため、例月出納検査でも認知されなかつた。その他の科目・費目については、ここではつきり回答できない。調べているかどうか、後もって調査をしたい。

**夢の翼について**

**問** 夢の翼は、子供たちに変え難い体験を与え、可能性を広げる事業であり、1日でも早い再開ができればと考えるが、再開に向けての考えを伺う。

**答** 本市が進めているGIGAスクールとも絡めて、海外の子供との交流から始め、そしてまた対面型の現地に赴いての交流ができればと考えている。

いずれにせよ、今後もこの事業は、子供たちにとって非常に意義のある事業であり、今年度も可能なら、実施の可能性を検討したいと考えている。

**【その他の質問】**

○交流人口の経済効果について  
○公民館設置条例と各地区公民館館則との関係について



梅木 勇 議員

**防災について  
(1) 要配慮者避難支援活動中の  
支援員負傷に保険を**

**問** 今年度の予算に、要配慮者個別計画作成支援業務委託費が計上されているが、委託事業の内容と、避難する要配慮者の避難支援活動中に支援者が負傷した場合、市民課相談係で対応しているボランティア保険の対象にならないか。ならなければ、適切な保険の検討が必要ではないか伺う。

**答** 業務委託は、災害時に避難の前提となる個別支援計画作成支援を、専門性を有する事業者へ委託するもので、避難行動要支援者ごとの対策を検討し、その結果を基に、要支援者自ら作成する個別計画について、受託事業者が支援を行うものである。支援者が活動中に負傷した場合のボランティア保険での対応は、災害がいつ起こるか分からない状況であるため、該当しないと認識している。保険は支援者に必要なものだと考えており、先日、販売が公表された損保会社の避難者支援者保険を検討したい。

**防災について  
(2) 市木地区の急傾斜地等の  
対策は**

**問** 昨年6月議会で質問した急傾斜地等の災害箇所への復旧、整備要望地の取組推進状況を伺う。

**答** 平成28年台風16号により、山崩れが発生した下市木自治公民館前の急傾斜地城山地区については、現在も用地交渉中であり、交渉が整い次第、早急に工事を発注したいという連絡を県から受けている。令和3年度の工事予算は繰り越されており、工事は着手してから5か年での完成を予定している。

中市木の急傾斜地については、本年度新規事業として測量設計業務が決定して、いよいよ事業が開始される。地権者全員の同意が得られたところである。

元垂水北迫地区の山崩れ復旧は、令和5年度より林地荒廃防止事業で実施することになった。



**【その他の質問】**  
○市道元垂水・原田線の工事について  
○城山団地入口北側崖の枯れ松除去を



前田 隆 議員

国の機関に一元化される個人情報保護条例の見直しについて

**問** 2023年3月までに個人情報保護条例の見直しが求められているが、本市の条例見直しはどのような項目を準備・検討し進めており、提出はいつか。また定義の一元化で死者やLGBTの扱いはどうなるか伺う。

**答** 国の定める定義や個人情報の取り扱い等、基本的に法の規定が適用され、既存の条例の規定の大部分が削除されるなど改正が広範囲にわたるため、全面的に改める全部改正になるものと考えている。提出は12月議会を考えている。

個人情報取り扱いは生存する個人であることから死者は含まれず、LGBTは政令等には規定されていないが条例で要配慮個人情報として追加はできる。

本市のDX推進について

**問** 本年度の取組事業、LINEアプリを活用した事業の内容とその効果、予算及び今後の展開を伺う。

**答** 本事業は公式LINEアカウン

トを導入し必要な情報を必要な人にわかりやすく、かつリアルタイムに届けることを目的に、(株)ロポネット・コミュニケーションズと開設業務委託契約を289万円で結び7月1日運用開始に向け進めている。事業内容はこれまでの広報媒体にない4つの機能(プッシュ通知、チャットボット、リッチメニュー、サーベイ機能)を活用し、垂水市公式ホームページの関連ページに誘導し既存の広報媒体と連携した広報活動が展開でき、効果もあるものと考えている。

本城川の寄り洲除去について

**問** 令和3年度の本城川の寄り洲除去の実績及び本年度の予算と予定について伺う。

**答** 令和3年度の実績は事業費約1億6000万円、実施延長1120メートル、寄り洲除去数量2万8700立方メートルで、本年度の当初予算では事業費が約6500万円、実施延長580メートル、除去数量1万1900立方メートルである。

【その他の質問】  
○ワンストップ化事業について



新原 勇 議員

令和3年度重機借りに上げについて

**問** 令和3年度の重機借りに上げの件数と金額は。また、工事の振り分けの決まり事、一般入札の工事近くで、重機借りに上げの工事が発生した時の対応について伺う。

**答** 土木課所管では、道路の重機借りに上げが35件約750万円、河川12件約650万円、災害対応54件約3450万円、港湾3件約390万円。農林課所管では、農業用施設や農道の農地費26件約935万円、治山や林道の林業費7件約251万円、災害復旧費64件約3087万円。

振り分けについては、緊急的に発生する災害対応や小規模な補修など、早急に対応する業務のため、地元との調整を図りながら地域性を重視することを基本として依頼している。繁忙期など作業依頼を辞退される場合、早急に対応できる地域外の建設業者に依頼する場合もある。一般入札工事現場近辺で重機借りに上げの案件がある場合、建設業者が重機を保有していることから早急な作業が可能となるため、関連付けて依頼することもある。

コロナ過における投票の分散化において移動期日前投票所は

**問** 垂水市も高齢化率が上がり、移

動期日前投票所は牛根境から新城麓まで交通の便の少ない高齢者にとつて支えとなる取組である。光ケーブルも開設されたが、できない課題は何か。また、期日前投票車としてバスのレンタル料はいくらか。

**答** 高齢化が進む中、投票者の利便性を図る重要性は認識しており、併せて選挙では、常に正確性・公平性・厳格性が要求されるので、移動期日前投票車については総合的に判断する必要はある。バスの借りに上げ料は1日当たり7万円だが、オンライン環境や二重投票防止など、多くの課題がある。

堆肥センターについて

**問** 堆肥センターの現状と課題を伺う。

**答** 平成14年4月に本格稼働し、地域有機資源である生ごみ・し尿・工場汚泥を活用した良質堆肥生産を行うことで、畜産農家と耕種農家の連携を促進し、環境保全型農業の確立、有機資源リサイクルの推進による循環型農業を目指した取組が進められている。約20年経過する中で、施設設備の経年劣化により多額の修繕費用が発生。堆肥販売状況も令和3年度売上高は609トン約275万円、平成27年度の実績1024トン約456万円と比較して約60%に減少している。一方、生ごみ搬入量は約1000トンと横ばいで推移している。課題として施設機器の更新、生ごみ処理の臭気対策や作業員の作業環境が挙げられる。





川畑 三郎 議員

梅雨・台風による災害対策について

**問** 梅雨入りし、台風の発生時期にもなった。災害に対する防災対策は。

**答** 6月11日に九州南部が梅雨入りした。出水期前の取組として、防災点検を実施した。また、5月27・28日の2日間、防災意識をテーマに水之上小学校を主会場として総合防災訓練も実施した。水之上小全児童76名を対象にした防災講和、地元消防分団による警戒訓練や全消防分団が参加した水防工法訓練も実施した。

防災訓練や防災点検の継続と併せ、市民の防災意識の向上を図り、安心安全の確保に努める。

農業振興について

**問** 農林水産省から鹿児島県へ、非農地判断の徹底について文書通達があった。非農地判断はどのように行うのか。

**答** 利用状況調査の結果、土地が森林の様相を呈しているなど農地復元が著しく困難であるもの、周囲の状況から見て農地として復元しても継続して利用できないと見込まれる土

地を、原則として当該調査を行った年内に、非農地判断を行うこととされたところである。

水産振興について

**問** 水産業は、本市において重要な基幹産業である。令和4年度の水産事業の主な事業内容について伺う。また、今年度のモジャコ漁の現状、人工種苗の取組と支援策について伺う。

**答** 種子島周辺漁業対策事業で、垂水市漁協は水産加工処理施設へ全自動深絞り真空包装機の設置、牛根漁協は牛根麓漁港内船揚げ台車の整備を計画している。漁港整備事業では、海潟漁港の高潮対策、牛根麓漁港の岸壁整備並びに浮き桟橋の設置、境漁港の高潮対策が計画されている。

市単独事業では、垂水市漁協の加工場に殺菌水生成装置の設置、牛根漁協の冷凍機入れ替え整備を計画している。昨年不漁であったモジャコ漁は、3回の期間延長で例年どおりの採捕量が確保された。人工種苗については、垂水市漁協・牛根漁協において定量供給に向けての情報共有を行っている。令和4年度はカンパチ7万5000匹、ブリ12万7000匹と購入匹数増加を要望しており、市としても人工種苗購入助成事業を増額するなど支援している。

【その他の質問】

○教職員住宅の現状について



北方 貞明 議員

不明金に公金を流用市長は公表が遅れたことを謝罪し、広報誌へ事実の公表を

**問** 不明金が発覚してから警察に被害届を出す間、当時の役職員が何人で調査し、その結果はどうだったか。なぜ被害届を出した時に市民へ公表しなかったのか。4月28日の全員協議会で報告された意図は、また市民に公金を流用したことに對する事実の公表を「市報たるみず」で掲載要望する。

**答** 【総務課長】 事案が発覚後、関係業者・関係職員に聞き取りを行い、課長2名・係長2名・係員2名で行い、責任者は当時の総務課長・財政課長のトップで調査して解決に至らず、11月に被害届を提出した。

【副市長】 公表については、事案発覚後の公表は警察の捜査への支障が危惧され、関係職員の人権侵害などを考え、差し控えたと聞いている。

4月28日の全員協議会で報告した意図については、関係職員の警察による事情聴取が先般行われ、関係職員と思われる職員が警察による捜査を認知し、家族等への相談等が行わ

れた場合に、不確定なうわさ等が広まるおそれがあったことや、警察へ公表について相談したところ、「アメリカットもあるが最終的には市の判断である」との見解をいただいたことから、現時点で分かる範囲の正確な情報を伝えた。

公表については、先日、新聞等に事案の概要が掲載されたことで、市が公表したことで同様の影響があるものと考え、現時点で分かる正確な情報を答弁という形で公表させていただいている。

メロディーロードについて

**問** 垂水は行進曲の父と言われる瀬戸口藤吉翁の生誕地であり、この有名な作曲家の軍艦行進曲のメロディーを国道に刻み、設置はできないか。

**答** メロディーロードの効果として、設定速度どおり走行することにより、速度超過を抑制することや眠気防止、地域に縁のある曲目を利用することにより、観光資源の創出に期待できるようである。教育的観点から考えた場合、瀬戸口藤吉翁には多数すばらしい曲があり、幹線道路に流れる音楽として選曲の課題等があると思う。

【その他の質問】

○ウクライナ支援について  
○防災対策について



篠原 静則 議員

**農家を守り、農地を守る政策を！**

**問** 現在、原油価格の高騰やウクライナ情勢の影響を受け、燃油や生産資材が高騰し、農業経営は窮地に立たされている。畜産業では、配合飼料価格が最高値を更新した半面、子牛取引価格は下落し、生産者から「この状況が続くと生産意欲が減退する」との声が届いている。そこで、昨年締結された南州エコプロジェクトとの包括連携協定における飼料増産に向けた今後の展望は。

**答** 本協定により連携する内容は、①畜産飼料等の生産に関すること②生産圃場の基盤整備に関すること③遊休農地の活用に関すること④鳥獣被害対策に関すること、などとなっている。

飼料増産に当たっては、荒廃農地や後継者のいない遊休農地を活用し、雇用創出など地域の活性化も行っていく計画である。現在、農業委員も参加したワーキング会議を設置し、耕作放棄地解消や農地集積・集約に取り組んでいる。

**問** 農地や市民から要望の多い大雨による山腹崩壊の復旧について、現在の状況は。また、牧農道（果樹試

験場の通り）では山腹崩壊が4か所あるが、復旧の見通しは。

**答** これまでの大雨により崩壊した山腹については、治山事業による復旧整備など総合的な対策を講じてもらうよう、県に対して58か所を申請し、令和3年度は新規5か所・継続3か所、令和4年度は新規2か所・継続1か所、令和5年度は新規4か所・継続5か所の事業採択がなされた。その他の箇所についても、引き続き要望していく。

牧農道については、応急的な対策を行っているが、民地等もあるため、再度現地を確認し対策を考えていきたい。

**国・県の公共機関の誘致を！**

**問** 地方では、人口減少が加速度的に進行しており、本市も同じような現状である。人口減少は将来に様々な問題が生じるため、国・県・地方自治体では喫緊の課題として様々な取組がある。

そこで、市長が常日頃から言われている国・県などの人脈を駆使した公共機関施設誘致への取組について市長の考えは。

**答** 地方創生の中で、戦略的な南の拠点整備で「道の駅たるみずはまびら」を創設し、雇用が生まれている。

一方で民間ではなく、公的なものという視点も大事であり、各省庁や地元議員と相談しながら進めていきたい。



持留 良一 議員

**「原油価格・物価高騰等」によるくらしと生活への対策は**

**問** 物価高騰で市民生活全般に影響が広がってきている。総務省の家計調査を基に物価高騰の影響をみると、食料品・光熱水費など生活必需品を中心に、あらゆる品目にわたる。特に所得が低い層ほど大きな打撃を受けており、市の役割と責任が求められているが、3つの角度から質問する。

1点目は、ひとり親家庭等への支援について。2点目は、学校給食費等の負担軽減への取組について。3点目は、物価高騰の中でも年金削減。高齢者（低所得者）支援の検討はなかったのかという問題。物価は上がったのに年金が減らされたとの声が多数寄せられた。そもそも物価が上がったら年金も上がるというのがルールであった。この6月分から年金が0.4%削減され、国民年金で年3108円減、厚生年金で年1万863円減になった。この10年間で実質6.8%減（物価上昇分を差し引き）になっている。

そこで、高齢者（低所得者）支援の検討はなかったのか。

**答** ひとり親家庭の生活は、物価高騰等の煽りを受け大変厳しい生活を

されていると察している。今後とも国、県の制度等の活用を図りながら、ひとり親家庭の生活の負担の軽減を図り、経済的自立を促進していく。

高齢者支援は、住民税非課税世帯等臨時特別給付金をプッシュ型で行うよう運用改善されており、市でも現在事業実施へ向けて準備作業を行っている。

**問** ひとり親家庭の生活実態を把握しているのか。

**答** 今のところやったことはない。数字自体は把握しているので、予算等への反映はしている。

**問** 全世界帯を視野に入れた即効性のある支援が必要と考えるがどうか。

**答** いろいろ光の届かないところ、しっかりと手当をしたいと思っ

ひとり親家庭の生活実態の声を再度把握しながら、今後さらに何ができるかというのは議論し、そこに光を当てていきたいと考えている。

**【その他の質問】**

○市営住宅家賃問題とコロナ支援

○畜産農家及び農家等への支援

く物価高騰から生業をまもる提案

○国保問題

く子どもの均等割の負担軽減の実施を

○公金等管理問題について



感王寺 耕造 議員

公金の不明金について

問 不明金は事件なのか、事務上の事故なのか。発覚後、なぜ速やかに公表し、警察に届けなかったのか。また、今回の事件が発生したと考えられる原因と、今後の対策を伺う。

答 現在も警察の捜査中であり、原因が明確に特定されていないため、事件なのか事故なのか申し上げられない状況である。警察の捜査への支障が危惧されたため、また関係職員の人権侵害や名誉棄損、家族への誹謗中傷も懸念されたため、公表を差し控えたところである。

事案発覚後、再発防止策を行った。今回の事案は、契約保証金を会計課の窓口で受領していたことが一つの原因であると考えており、再発防止対策の中で、金融機関の窓口で納入するよう見直しを行った。

問 当時の市長・副市長・関係課長の責任は果たされたのか。

答 今回、議会で特別委員会が設置されるなど、いろいろなことが動き始めている。しっかりとその状況を見守りながらまずは原因究明をして、問題解決を図る。再発防止と併せて

関係者の責任の取り方はあると思うが、状況に応じて対応させていきたい。

空き家を活用した定住促進政策  
・小中学校の維持対策について

問 本市の定住促進政策は様々な補助制度があり、子育て支援策も充実している。しかしながら、市外からの移住者増は微増にとどまっている。空き家を活用し、行政・小中学校・教育委員会・地域等が連携して人口増を図るべきと考えるが、見解を伺う。

また、教育委員会で小中学校の児童数を増やす対策は果たされているのか。

答 空き家等対策計画において、地域住民や不動産業者等の関係機関と連携して空き家等対策を推進することになっている。空き家ワーキンググループにおける事業の検討段階から地域住民や不動産業者等の学識経験者から意見を伺い、連携して定住促進につながる空き家を有効活用した事業を検討する。

児童生徒数を増やす対策として、山村留学制度があるが、今年度に導入している県内17市町村60校のうち、53校は離島である。制度導入について先進地の現状把握を含め、関係各課や関係機関と連携を図り、調査研究していく。



池山 節夫 議員

市長は垂水市民のためにも  
継続したほうが良いと思う！

問 尾脇市長が4期目の出馬表明をされた。森山代議士が中央畜産会の会長になっておりますが、その後、尾脇市長が畜産の理事になられた。これが鹿児島県内の市長の中でも評価されてきた証しだと思っております。豊かな海づくり協会の理事になっていくという話もあって、私は首長がころころ替わる、それと3期・4期・5期続く、それが垂水市民、まちの地域住民にとって、どちらがいいのかと訴えたいわけである。そこでセカンドステージとして挑みたいと言われる6次産業化の推進について交流人口のさらなる増加策について伺う。

答 6次産業化の取組として重要なポイントは、生産・加工・流通・販売の工程の段階で価格差が生じるが、いかにして生産者側が多くの収益を得られるように取り組んでいくかという点であり、その仕組みをしっかりと定着させられると、先々、経営の安定や雇用の創出並びに事業の継承につながっていくものと考えている。

次に交流人口について、全国の自治体において人口減少の傾向は顕著に表れており、定住人口を増加するのは厳しい状況にあると認識していることから、交流人口に加え、地域に継続的に多様な形で関わる関係人口の創出・拡大に取り組むことが喫緊の課題であると考えている。本市の3つの拠点である道の駅たるみず湯つり館・猿ヶ城溪谷森の駅たるみず・道の駅たるみずはまびら（たるたるばあく）の周遊性を活かした観光メニューの開発や、プロモーションを通して観光資源などの本市の魅力を活かすこと、情報発信を行うことで、関係人口の増加に努めてまいりたい。これらの取組により、市内への資金の循環が図られ、経済の活性化によるさらなる発展を目指してまいりたい。

学校給食食材費臨時交付金  
について

問 今回、補正が組まれた。円安は、もう136円になった。今年、思った以上に円安で物価高に入っているときにどうするか。

答 社会の動向によって子供たちが、安心・安全な給食が食べられにくい環境になるということは、我々がしっかりとサポートしなければいけないので、力強く支援してまいりたい。



池田 みすず 議員

子育て支援の充実について

問 公益財団法人慈愛会との包括連携協定の内容について伺う。

答 慈愛会と相互に連携及び協力し、垂水市民の皆様へ妊娠期から子育て期にわたり切れ目のない支援を行い、安心して子育てができるための環境の充実を図るため、5月10日に協定を締結した。内容としては、

- ① 産前産後ケアに関する事
  - ② 新生児訪問に関する事
  - ③ こども・子育て支援に関する事
  - ④ 医療・健康に関する事
  - ⑤ 思春期保健に関する事
  - ⑥ 垂水市における産科医療導入の検討に関する事
  - ⑦ 慈愛会と垂水市の両者が協議して必要と認めるもの
- の7つの事項について連携及び協力するものである。

問 包括連携がもたらす垂水市への効果について伺う。

答 慈愛会は今村総合病院など多くの病院等を運営されていることから、医師・看護師・助産師等豊富な人材資源と専門的な知識を有しており、その様々なノウハウを活用すること

で、本市の妊産婦や乳幼児世帯に対し、子育てに関する専門的知識が提供されることにより、子育ての不安等の解消が図られていくものと考えらる。今後、妊婦健診や産後の診療、婦人病の検査など、本市に居ながら産婦人科に関する診療が受けられるような、県内でも例を見ない新しい地域医療の仕組みづくりを目指す。

鹿児島県総合防災訓練について

問 垂水市の関わりについて伺う。

答 11月4日・5日に行われる県総合防災訓練は、南海トラフ巨大地震を想定した訓練で、広域的な応援が必要とされることから、鹿児島県内消防総合応援協定に基づき、離島を除く県内16消防本部、消防車47台、職員述べ149名が参加する予定。当消防本部も、救急隊及び救急隊の参加を予定している。



【その他の質問】

- 成人式について
- 特別国民体育大会について
- 販路拡大支援事業について



徳留 邦治 議員

これからの垂水市について

問 市長はこれまで、子育て支援や台風などによる災害復旧や新型コロナウイルスワクチン予防接種の実施、鹿児島大学との連携による健康プロジェクトなどの医療対策への取組、慈愛会との連携、コロナ禍における地元商工業に対する経済対策など、様々な事業に取り組みされてきた。これからの垂水市について、その思いを問う。

答 平成23年1月の市長就任以来、垂水市の発展と市民の幸福の実現を政治理念に掲げ、市民の声に耳を傾ける姿勢、市民と行政との情報共有のための積極的な情報発信と説明責任を果たす姿勢、さらにこれまでに培った国や県とのパイプを生かしつつ、市政運営に取り組んできた。平成16年の市町村合併からの離脱以降、行財政改革に取り組み、就任以降も引き続き進めた結果、市の財政状況は大きく改善されたが、行財政改革を進めつつも、元氣な垂水づくりと市民の幸福実現のために、未来・安心・経済、3つの挑戦を軸に事業を展開してきた。

引き続き、元氣な垂水づくりと市民の幸福実現のため、未来・安心・経済の3つの挑戦を軸に事業を展開したい。その中でも特に3点について、取り組んでいきたい。

1 点目は、儲かる仕組みの確立である。地域の特性を活かした稼ぐ地域実現のために、農地集積等による担い手農家の生産性向上推進や、水産業における6次産業化への支援や販路拡大における支援、観光物産販路拡大支援の事業を積極的に推進していきたい。

2 点目は、交流人口や関係人口の増加である。全国自治体で人口が減少している中、定住人口増加は厳しいが、長期的視点に立ち努力を重ね、交流人口に加えて、地域に継続的に多様な形で係る関係人口の拡大に取り組んでいきたい。

3 点目は、安心して暮らせるまちづくりの実現である。本市は、梅雨時期の大雨や、台風の接近により、斜面の崩壊、地すべり、土石流など大規模な土砂災害が生じる傾向があることから、垂水市強靱化地域計画に則って、公共施設の耐震化や市道並びに橋梁の長寿命化を図っていきたい。

市民の皆様が健康で住んでよかったと思えるまちづくりのために、粉骨砕身、全身全霊で取り組んでいきたい。

## 令和4年第2回定例会に提案された件名と結果一覧

番 号	件 名	内 容	審議結果
報 告	令和3年度垂水市一般会計繰越明許費繰越計算書の報告について	地方自治法第213条に基づき、令和4年度へ繰り越した令和3年度の繰越明許費を報告するもの	—
報 告	第4号 専決処分の承認を求めることについて（垂水市税条例の一部を改正する条例）	令和4年度の地方税制の改正に伴う文言修正など、法律改正に併せて改正するもの	承認
報 告	第5号 専決処分の承認を求めることについて（垂水市国民健康保険税条例の一部を改正する条例）	国民健康保険税の基礎課税額や後期高齢者支援金等分の上限引き上げについて改正するもの	承認
報 告	第6号 専決処分の承認を求めることについて（令和3年度垂水市一般会計補正予算（第15号））	令和3年度内に行う各基金への積立てや、老人保健施設特別会計への繰出金の執行等に係る増額補正	承認
報 告	第7号 専決処分の承認を求めることについて（令和4年度垂水市一般会計補正予算（第1号））	国の子育て世帯生活支援特別給付金支給に係る増額補正	承認
報 告	第8号 専決処分の承認を求めることについて（令和3年度垂水市老人保健施設特別会計補正予算（第3号））	特別減収対策企業債発行予定であった金額について、一般会計から繰り入れるもの	承認
議 案	第28号 垂水市総合開発審議会条例の一部を改正する条例 案	審議会の委員数を15人に変更し、委員の選抜に公募者を追加しようとするもの	原案可決
議 案	第29号 垂水市固定資産評価員の選任について	新たな固定資産評価員の選任について、議会の同意を求めるもの	同意
議 案	第30号 消防本部災害対応特殊水槽付消防ポンプ自動車の購入契約について	車両の老朽化・ポンプ性能の低下等により、消防本部水槽付消防ポンプ自動車の購入を行うものとするもの	原案可決
議 案	第31号 令和4年度垂水市一般会計補正予算（第2号）案	大野地区の総務省事業、コロナ対策（ワクチン接種事業、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金事業）等に係る増額補正	原案可決
議 案	第32号 令和4年度垂水市病院事業会計補正予算（第1号）案	垂水中央病院の感染対策強化に係る増額補正（PCR検査装置の追加購入、発熱専用外来の環境整備、水道蛇口をセンサー式へ交換など）	原案可決
議 案	第33号 令和4年度垂水市簡易水道事業特別会計補正予算（第1号）案	人事異動に伴う人件費の減額補正	原案可決
議 案	第34号 令和3年度垂水市水道事業会計剰余金の処分及び決算の認定について	令和3年度垂水市水道事業会計の剰余金の処分や決算を審査するもの→閉会中の公営企業決算特別委員会で審査することに決定	継続審査
議 案	第35号 令和3年度垂水市病院事業会計決算の認定について	令和3年度垂水市病院事業会計の決算を審査するもの→閉会中の公営企業決算特別委員会で審査することに決定	継続審査
請 願	第8号 パートナーシップ制度の導入を求める請願	性的少数者の生きづらさを解消する取組の一環として、パートナーシップ制度の導入を求めるもの	採 択
陳 情	第14号 女性トイレの維持及びその安心安全の確保について	女性用トイレを維持し、女性の安心安全を守る方策を求めるもの	採 択
陳 情	第15号 国民の祝日「海の日」を7月20日に固定化する意見書の提出を求める陳情	海の記念日を基に制定された「海の日」を、7月20日に固定化することを求めるもの	採 択
陳 情	第16号 沖縄を「捨て石」にしない安全保障政策を求める意見書の提出を求める陳情	辺野古新基地の建設断念など、沖縄を犠牲にしない安全保障政策を求めるもの	不採択
陳 情	第17号 義務教育費国庫負担制度負担率の引き上げをはかるための、2023年度政府予算に係る意見書採択の陳情について	教育の機会均等と水準の維持向上を図るため、地方財政を確保したうえで義務教育費国庫負担制度の負担割合引き上げを求めるもの	採 択
陳 情	第18号 ゆたかな学びの実現・教職員定数改善をはかるための、2023年度政府予算に係る意見書採択の陳情について	教職員定数改善の推進や複式学級の解消などの実現に向けた政府予算編成を求めるもの	採 択
決議案	第3号 事務検査に関する特別委員会の設置を求める決議案	地方自治法第98条に基づく事務検査を行うための特別委員会を設置しようとするもの	原案可決
意見書案	第18号 国民の祝日「海の日」を7月20日に固定化する意見書 案	上記陳情第15号に係る意見書	原案可決
意見書案	第19号 義務教育費国庫負担制度負担率の引き上げをはかるための、2023年度政府予算に係る意見書 案	上記陳情第17号に係る意見書	原案可決
意見書案	第20号 ゆたかな学びの実現・教職員定数改善をはかるための、2023年度政府予算に係る意見書 案	上記陳情第18号に係る意見書	原案可決
意見書案	第21号 国民健康保険税の引き下げへの国の対応を求める意見書について	国民健康保険被保険者の負担軽減のため、国庫負担割合の引き上げを求めるもの	否 決

## 令和4年第1回臨時会に提案された件名と結果一覧

番 号	件 名	内 容	審議結果
決議案	第4号 市庁舎の耐震補強工法における要望の決議 案	垂水市議会から、市庁舎の耐震補強工法の方向性について要望するもの	原案可決

## 全国市議会議長会 市議会議員表彰

第98回全国市議会議長会定期総会が開催され、本市議会から2名の方が特別表彰を授与されました。ここにご報告し、お喜びを申し上げます。（※篠原議員は、写真掲載をご遠慮）



### 【30年表彰】 徳留 邦治 議員

- 初当選 昭和62年4月24日【8期目】
- 第22代 垂水市議会議長  
議会運営委員長・産業委員長等を歴任

### 【35年表彰】 篠原 静則 議員

- 初当選 昭和62年4月24日【9期目】
- 第21・29代 垂水市議会議長  
議会運営委員長・桜島火山活動対策特別委員長等を歴任

## 賛否が分かれた議案について（○：賛成、×：反対）

氏名 議案番号・議案件名	新原	森武	前田	池田	梅木	堀内	川越	感王寺	持留	北方	池山	徳留	川畑	篠原	○賛成	×反対	審議結果
	勇	一	隆	みずす	勇	志	信男	耕造	良一	貞明	節夫	邦治	三郎	静則			
決議案第3号 事務検査に関する特別委員会の設置を求める決議案	○	○	○	○	○	○	※議長のため表決には参加しない	○	○	○	○	×	○	○	12	1	原案可決
陳情第15号 国民の祝日「海の日」を7月20日に固定化する意見書の提出を求める陳情	○	×	○	×	×	○		×	×	○	○	○	○	○	8	5	採択
陳情第16号 沖縄を「捨て石」にしない安全保障政策を求める意見書の提出を求める陳情	×	×	×	×	×	×		○	○	×	×	×	×	×	2	11	不採択
意見書案第18号 国民の祝日「海の日」を7月20日に固定化する意見書 案	○	×	○	○	○	○		×	×	○	○	○	○	○	10	3	原案可決
意見書案第21号 国民健康保険税の引き下げへの国の対応を求める意見書について	○	○	×	×	×	×		○	○	○	×	×	×	×	5	7	否決

# 庁舎整備検討特別委員会

6月10日・7月1日に開催されました協議の内容をお知らせします。

6月10日開催

## これまでの状況について

**協議内容** 6月6日開催の庁内検討委員会・6月8日開催の外部検討委員会での報告5件及び補助申請の状況・業務委託契約の状況について、市当局が報告。

### 委員への報告内容

- 報告5件↓①委員会等の経過
- ②補助事業の申請について
- ③耐震補強計画業務委託の契約について
- ④耐震化事業の流れ
- ⑤補強案について

## これからの事業について

**協議内容** 耐震化事業の流れ・耐震補強計画について、市当局が報告。

### 委員への報告内容

耐震補強工法2案(外付主体工法・内付主体工法)等の説明後、質疑応答。

7月1日開催

## あり方検討委員会の報告について

**協議内容** 6月28日開催の「第7回垂水市庁舎等のあり方検討委員会」での耐震補強計画の方向性に関する協議結果について、市当局が報告。

### 委員への報告内容

あり方検討委員会における耐震補強計画A案とB案の意見交換・質疑の結果を報告(B案での意見書提出を了承)

## 庁舎整備検討特別委員会としての工法の方向性について

**協議内容** 庁舎整備検討委員会として、工法・経済性・施工性・利便性・意匠性を比較し、どちらの案を要望するか協議。委員から、工法や執務室への影響、費用のブレ等について質疑が交わされた。

### 協議結果

B案による耐震補強工事を要望することに決定(全会一致)↓臨時会を開き、議決という形で方向性を示すことに決定(詳しくはP3参照)

## ～ 議員の主な活動 ～

【令和4年5月～令和4年7月】

- 5月10日(火) 肝属地区教育振興会総会 (鹿屋市)
- 5月20日(金) 大隅総合開発期成会 (鹿屋市)
- 5月24日(火)～25日(水) 県市議会議長会臨時総会・全国市議会議長会定期総会・地方財政委員会 (東京都)
- 6月6日(月) 桜島火山活動対策協議会総会 (鹿児島市)



6/6 桜島火山活動対策協議会総会



6/28 国道整備促進要望

- 6月28日(火) 国道整備促進要望 (肝付町)
- 6月30日(木) 全国市議会議長会地方財政委員会 (東京都)
- 7月4日(月) 桜島火山活動対策県庁要望 (鹿児島市)
- 7月8日(金) 国道整備促進要望 (福岡県)
- 7月19日(水) 県市議会議長会定期総会 (志布志市)
- 7月22日(金) 国道整備促進要望 (東京都)

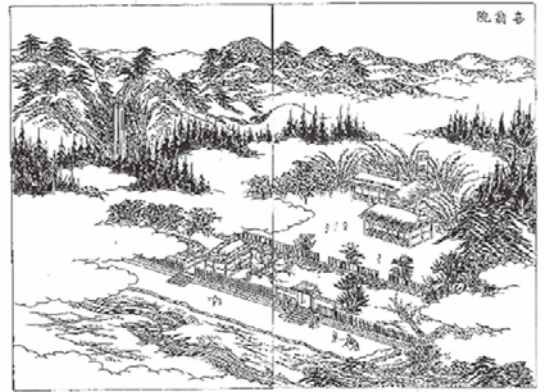
【特集 第17回】  
垂水市の史跡めぐり

望海山喜翁院跡

天正8年（1580年）9月に二川の地に赴任した地頭の鎌田尾張守正年寛栖が上ノ原の今の集落墓地の処（旧牛根中学校近く）に創建した望海山喜翁院は、三国名勝図絵にも紹介されている。三国名勝図絵によると、寺の本殿以外は茅葺で麓の飯屋より一里20町（約6.2km）のところであり鹿児島島の福昌寺の末寺で禅宗中曹洞宗本尊は観音菩薩、開山は菟谷和尚であったと記録されている。

三国名勝図絵には「寺地より望めば当方に峯巒連りて、断崖多く其下は樹木森然たり。其の断崖の間に穴籠の瀑布真下にそそぎ落ちて、白虹をかけたるが如し。南は桜島嶽海中に屹立し、又西の方は積水渺然として遠山青螺を畳み、其景色図面を閲するに似たり云々。」と望海山喜翁院からの景色を記している。鎌田尾張守は、天正11年（1583年）7月末に70歳で亡くなったと言われている。法名は、喜翁勝観庵主とあり、墓は二川の地にあると言われているがその場所は不明である。

望海山喜翁院は、文化14年（18



14年）までおよそ234年間二代の僧が治め、明治2年の廃仏毀釈でつぶされた。

参考文献／垂水史料、三国名勝図絵

編集後記

7月8日、安倍元総理大臣が奈良市で遊説中に銃撃され、ご逝去されるといふ衝撃的な事件が発生しました。国民の多くが嘆き悲しみ、何とも言えない脱力感に苛まれたことだと思えます。安倍元総理といえは、2018年8月26日に垂水市漁協（海鳥）で桜島を背景に総裁選へ出馬表明し、その状況が全国ニュースで放送されたことが記憶に残ります。

その時も警護員の視線を気にすることなく垂水市民のところに自ら近づき、握手や写真撮影に応えていた光景を思い出します。常に国民のことを考えて多くの偉業を成し遂げられ、また世界に誇れる日本国を作るために活発な外交を繰り広げられました。9月27日は国葬が予定されていますが、心からご冥福をお祈りします。安倍元総理の追悼を祈念し、思い出の写真1枚を掲載いたします。垂水市議会も、悲しみを乗り越えて、



更に市民の皆様の一歩に対応した行政運営を行って参ります。

市議会へ行こう

令和4年 第3回定例会会期日程（案）

月	火	水	木	金
8/29	30	31	9/1	2 本会議
5	6	7	8	9
12	13 一般質問	14 一般質問	15 産業厚生委員会	16 総務文教委員会
19	20	21	22	23 秋分の日
26 本会議	27	28	29	30

※本会議は、市役所3階の議会傍聴席にて傍聴できます。（新型コロナウイルス感染症対策のため、マスク着用の遵守や傍聴を制限する場合があります。本議会の様子はライブ・録画配信をしていますので、インターネット中継をご覧ください。）  
※委員会の傍聴は、事前に委員長の許可が必要です。  
※請願等の受付締切日は、議会運営委員会前日の8月25日です。  
※9月2日、9月26日の本会議は午前10時から、一般質問及び各委員会は午前9時30分からの開会予定です。  
※日程は変更になる場合がありますので、議会事務局までお問い合わせください。